



# 雑草防除の ビッグなエース。

## ビッグシュアエース 1キロ粒剤



抵抗性アゼナ



抵抗性ホタルイ



抵抗性コナギ

JA  
だけ!

田植同時散布で  
除草作業終了



イメージキャラクター  
ミスター・エース

お得な  
大型包装

SU抵抗性雑草にも田植同時散布で、  
効果大! それがエースの実力。

- ・SU抵抗性のホタルイ、アゼナ類、コナギに高い効果
- ・田植同時からノビエの2.5葉期まで幅広く使える

水稲用一発処理除草剤 - ビッグシュアエース1キロ粒剤



1キロ袋



4キロ袋 (40アール用)



JAグループ  
農協 全農 経済連

登録商標 第4702318号



## ビッグシュアエースだからできる、田植同時でこんなメリット!!

- ◎省力:田植後に行っていた従来の除草作業が省略できます。
- ◎安心:田植と同時に除草剤散布をしてしまうので、散布適期を逃しません。
- ◎効果:田植同時散粒機を使うことで均一散布が可能。安定した効果が期待できます。

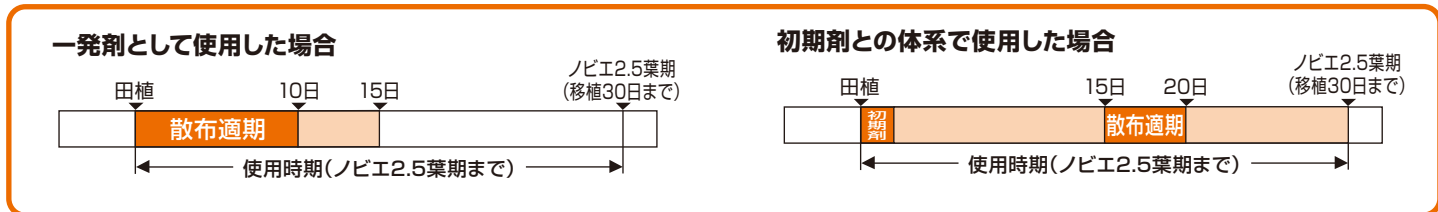
### ビッグシュアエース1キロ粒剤の特長

- ◎田植同時で使える一発処理除草剤。一年生から多年生まで広範囲の雑草に有効で、ノビエの2.5葉期処理でも高い効果。
- ◎高い作物選択性で、田植同時散布でも安心。効果持続が長く、田植同時処理でも十分な期間、雑草を抑制。
- ◎SU抵抗性雑草(ホタルイ・コナギ・アゼナ類)にも有効。

### 適用雑草の範囲および使用方法(2015年12月現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り 使用量	総使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草および マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) クログワイ(北海道を除く) オモダカ(北海道を除く) ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ、ヒルムシロ、セリ エゾノサヤヌカグサ(北海道) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壌土～ 埴土	1kg	ダイムロン 3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	田植同時 散布機で 施用	全域の普通期 および 早期栽培地帯
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			本剤のみ 1回  イマズスルフロン 2回以内  フェントラザミド 1回		
直播 水稲	水田一年生雑草および マツバイ、ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	イネ1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			ダイムロン 2回以内	湛水散布	全域

### 使用時期(本剤の使用時期はノビエ2.5葉期までですが、散布時期の目安として移植後の日数で表示しました。)



### 田植同時散布での上手な使い方

- 整地、代かきは丁寧にを行い、田面水の流亡がないように畦畔管理を行って下さい。漏水田、かけ流し田では使用しないで下さい。
- 水尻を止めて通常の状態に移植作業(薬剤散布)を行って下さい。
  - 移植開始前、散粒機の取扱説明書(散布目安表など)を参考に、適正な散布量が得られるよう散布量調節ツマミで調整して下さい。また、移植中は容器内の薬剤残量を確認しながら、適量散布して下さい。
  - 田植は丁寧にを行い、浅植え、浮き苗などは生じないようにして下さい。
- 田植終了後は、速やかに所定の湛水深(5cm程度)まで入水し、田面が露出しないようにして下さい。
- 田植後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにして下さい。田植後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。差し水は、急激に行くと水口付近の薬剤処理層がこわれるため、静かに行ってください。

### 注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、田植え同時からノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がブレが出ますので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、オモダカ、クログワイは発生期まで、セリは再生前から再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示しませんので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせ使用して下さい。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布して下さい。また、極端な浅水や深水での使用は避けて下さい。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、とくに丁寧に行って下さい。
- 以下の条件では薬害を生ずる恐れがありますので使用を避けて下さい。
  - 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
  - 軟弱苗を移植した水田
  - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさけて下さい。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえて下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
- 本剤は、移植前に生育したミスガヤツリには効果が劣りますので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用して下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがありますので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意して下さい。
- いくさの栽培予定水田では本剤を使用しないで下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベル記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。